

パケット解析

2024/11/09

GDGoC 大阪大学

低レイヤー講演会 in Osaka

Tam

アンケート

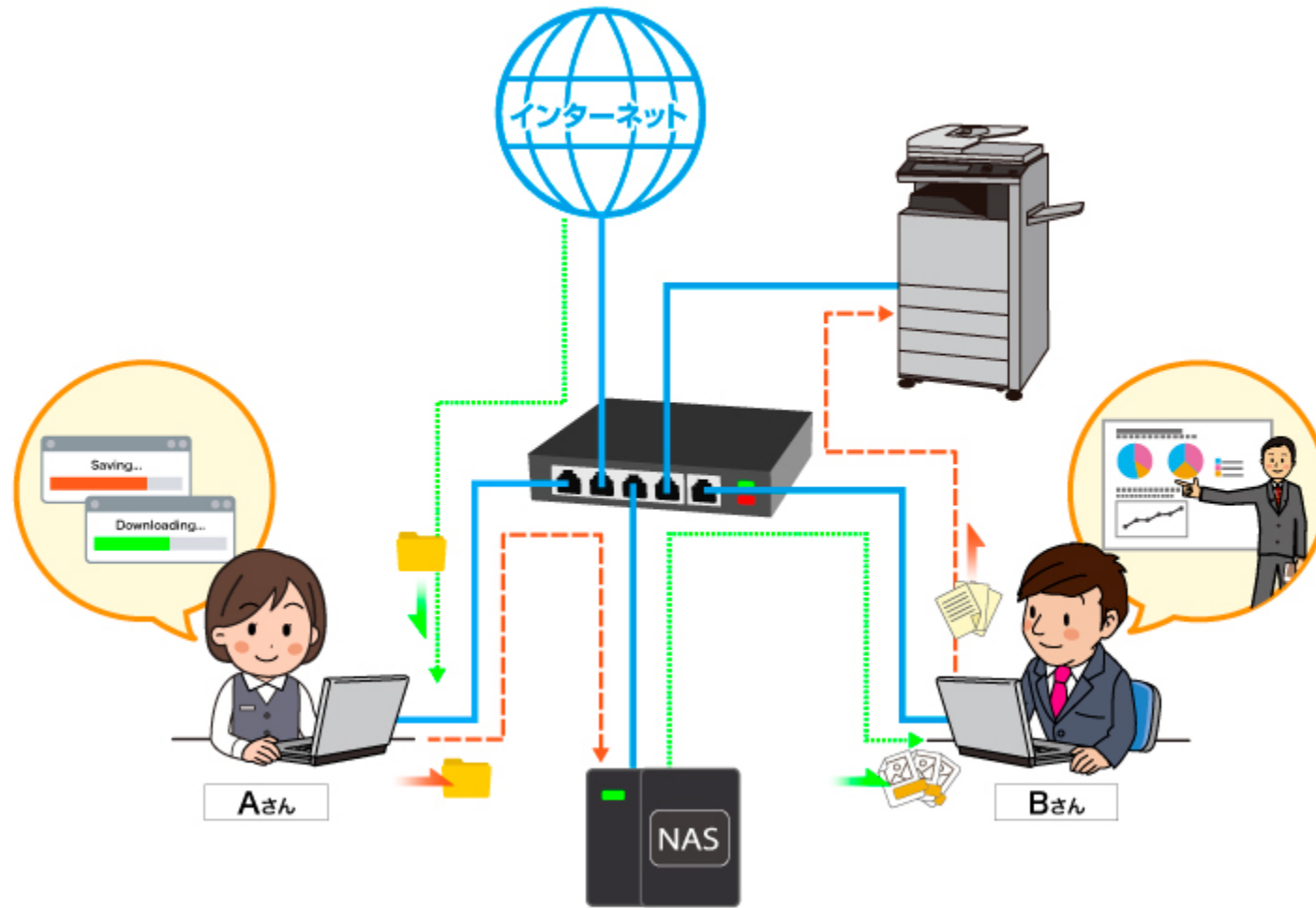
唐突ですが、

自分が使ってるネットのデータ、覗かれたら嫌ですか？

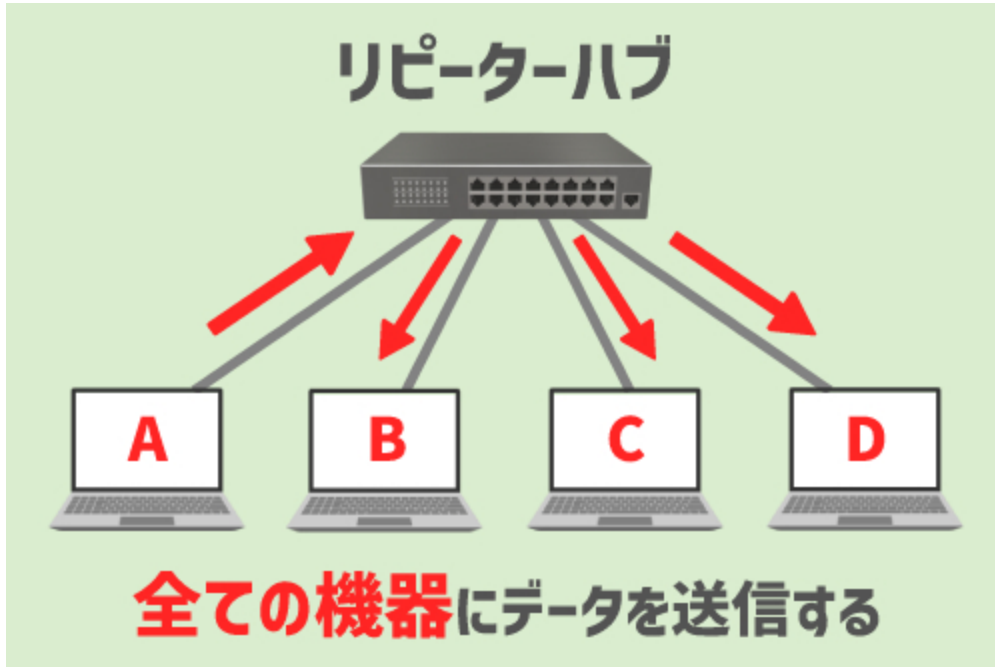
残酷な現実

WiFi でも有線LAN でも、
データは見られています。

有線LAN の場合

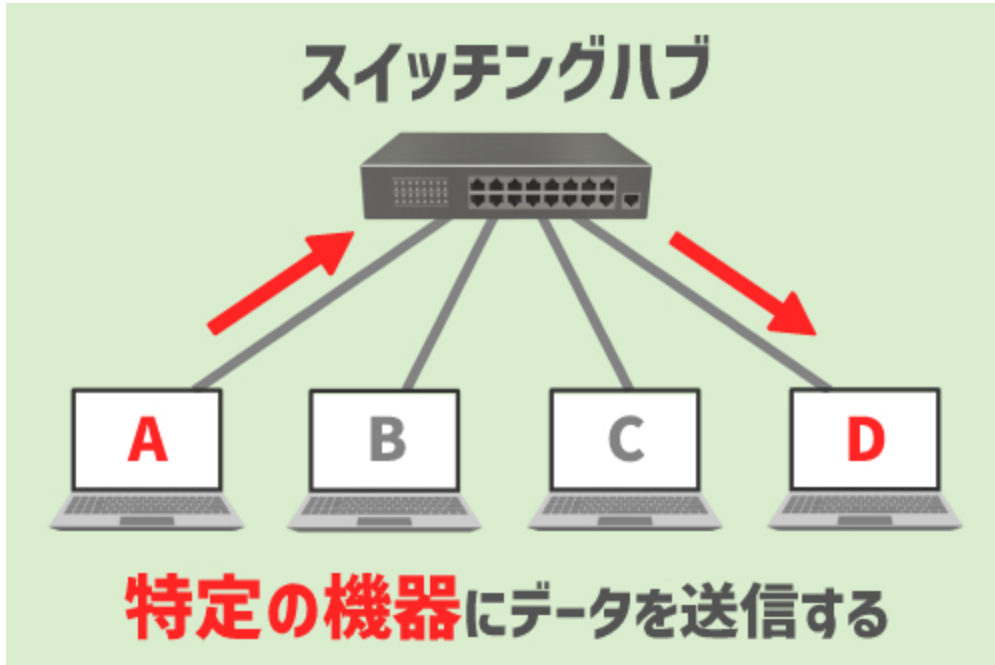


バカHUB



※ノジマのHPより抜粋

スイッチングHUB



※ノジマのHPより抜粋

無線LAN の場合

- 繋ぐためには SSID とパスワードが必要。
- パスワードが必要なんだから、他の人には見えないんじゃない？

⇒同じ WiFi を使ってる人は、全員データが見えます。

WireShark や TCPDump

- データを覗き見るための専用のソフトがあります。
- 違法性はありません！（よく誤解する人が居ます。）
- 固定電話の盗聴と言った概念ではありません。
- データは誰でも見れます。
- 逆に見られているという認識で使用する必要があります。

実演

- 見えちゃいけないデータが見えちゃうとマズイので、詳細はボカシます。
- 昨今の通信料は膨大なので、そのまま覗き見ると、データが大量にあります。
- フィルタを掛けることにより、目的のデータのみに絞ることが出来ます。

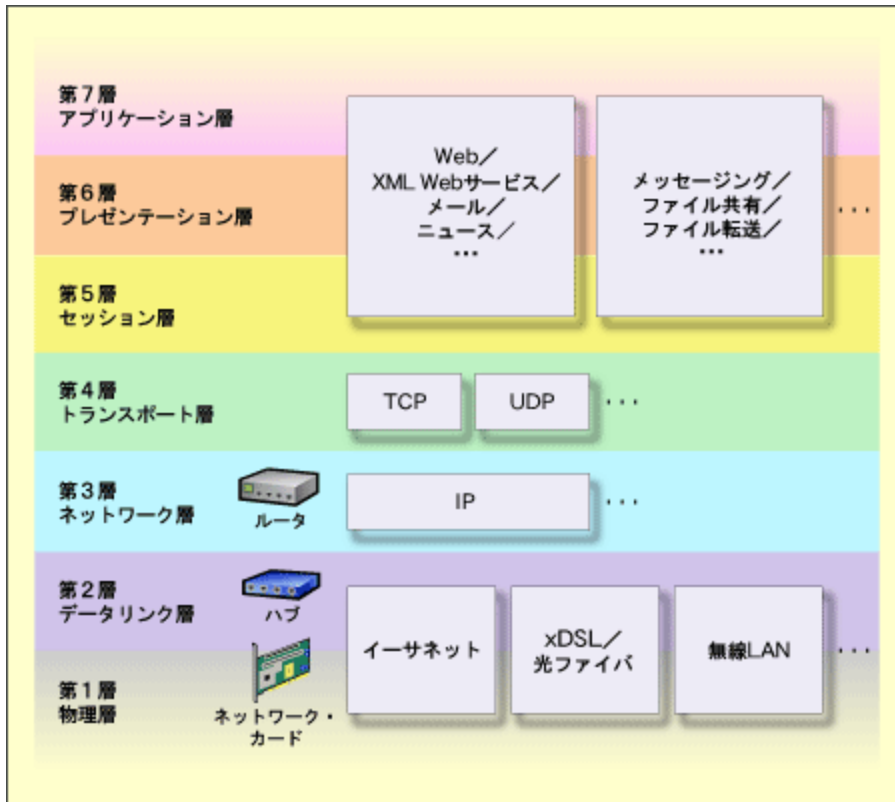
潜水

- WireShark では「パケット」ごとにデータが出力されます。
- 「パケット」とは、WiFi や有線LAN のデータ通信の最小単位です。

パケットの構造

- 有線LAN と無線LAN ではパケットの構造が若干違います。
- 有線LAN のパケットのほうが、入門としては都合がいいです。
- ここでは、会場の設備の都合で、 WiFi のパケット構造を見ていきます。

OSI参照モデル



※明確に層分けできない場合が結構あります。

物理層、データリンク層

各物理デバイス間の通信が行われます。

ここでは、主にローカルネットワーク内での通信しか行われません。

ネットワーク層

IP 通信が行われます。

ここの定義により、グローバルな通信が行えるようになります。

トランスポート層

TCP, UDP, ICMP といったプロトコルが使われます。

セッション層、プレゼンテーション層、アプリケーション層

HTTP や SMTP 、 DNS と言ったプロトコルが使われます。